

# 令和 2 年 度

## 幼稚園教員資格認定試験

### 教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

#### 注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 氏名、受験番号を「令和2年度 幼稚園教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号をマークしてください。
4. 「解答カード」の中で、特に受験番号の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、すべて「解答カード」の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。  
訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。  
「解答カード」が汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に「解答カード」の交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 50分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊙ ⊗ ⊕ ⊖

問 1 次の文章は、「幼稚園教育要領」(平成 29 年文部科学省告示第 62 号)「第 1 章 総則 第 1 幼稚園教育の基本」の一部である。文章中の ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

教師は、幼児の主体的な活動が確保されるよう幼児一人一人の ① と予想に基づき、② に環境を構成しなければならない。この場合において、教師は、幼児と人やものとの関わりが重要であることを踏まえ、教材を工夫し、③ を構成しなければならない。また、幼児一人一人の活動の場面に応じて、様々な役割を果たし、その活動を豊かにしなければならない。

	①	②	③
ア	発達の理解	組織的	物的・空間的環境
イ	行動の理解	計画的	物的・空間的環境
ウ	行動の理解	組織的	教育環境
エ	発達の理解	計画的	教育環境

問 2 次の文章は、「幼稚園教育要領」(平成 29 年文部科学省告示第 62 号)「第 1 章 総則 第 4 指導計画の作成と幼児理解に基づいた評価 3 指導計画の作成上の留意事項」の一部である。文章中の ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

行事の指導に当たっては、幼稚園生活の自然の流れの中で生活に ① を与え、幼児が主体的に楽しく活動できるようにすること。なお、それぞれの行事についてはその ② を十分検討し、適切なものを精選し、③ にならないようにすること。

	①	②	③
ア	多様な刺激	教育的価値	教師の負担
イ	多様な刺激	行事計画	幼児の負担
ウ	変化や潤い	教育的価値	幼児の負担
エ	変化や潤い	行事計画	教師の負担

問 3 『幼稚園教育要領解説』(平成 30 年 3 月文部科学省)「第 1 章 総説 第 4 節 指導計画の作成と  
幼児理解に基づいた評価 3 指導計画の作成上の留意事項 (7)教師の役割」に示された内容と  
して適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 幼児が行っている活動の理解者としての役割
- イ 幼児との共同作業であり、幼児と共鳴する者としての役割
- ウ 幼児を一定の基準に従って評価する役割
- エ 遊びの援助者としての役割

問 4 「幼稚園教育要領」(平成 29 年文部科学省告示第 62 号)「第 2 章 ねらい及び内容 環境 2  
内容」として示されていないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 身近な物を大切にする
- イ 季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く
- ウ 日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ
- エ いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ

問 5 次の文は、「幼稚園教育要領」(平成 29 年文部科学省告示第 62 号)「第 2 章 ねらい及び内容  
言葉 3 内容の取扱い」の一文である。文中の  ～  に当てはまる語句の組  
合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

絵本や物語などで、その内容と  とを結び付けたり、 を巡らせたりするな  
ど、楽しみを十分に味わうことによって、次第に豊かなイメージをもち、言葉に対する  
 ようにすること。

- |   | ①      | ②  | ③       |
|---|--------|----|---------|
| ア | 自分の経験  | 想像 | 感覚が養われる |
| イ | 自分の経験  | 思い | 理解が深まる  |
| ウ | 獲得した知識 | 思い | 感覚が養われる |
| エ | 獲得した知識 | 想像 | 理解が深まる  |

問 6 次の文は、「幼稚園教育要領」(平成 29 年文部科学省告示第 62 号)「第 2 章 ねらい及び内容  
人間関係 3 内容の取扱い」の一文である。文中の ① ~ ③ に当てはまる語句  
の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

集団の生活を通して、幼児が人との関わりを深め、 ① の芽生えが培われることを考慮  
し、幼児が教師との信頼関係に支えられて ② 中で、互いに思いを主張し、折り合いを付  
ける体験をし、きまりの必要性などに気づき、 ③ を調整する力が育つようにすること。

- |   | ①    | ②       | ③      |
|---|------|---------|--------|
| ア | 自我   | 友達と関わる  | 自分の気持ち |
| イ | 自我   | 自己を発揮する | 仲間関係   |
| ウ | 規範意識 | 自己を発揮する | 自分の気持ち |
| エ | 規範意識 | 友達と関わる  | 仲間関係   |

問 7 次の①~④は、『幼稚園教育要領解説』(平成 30 年 3 月文部科学省)「第 2 章 ねらい及び内容  
第 3 節 環境の構成と保育の展開 3 留意事項」に示された「環境を構成する視点」である。示  
されているものを○、示されていないものを×としたとき、組合せとして正しいものを、下の  
ア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 発達の時期に即した環境
- ② 時間割に基づいた活動に取り組める環境
- ③ 興味や欲求に応じた環境
- ④ 小学校への進学に備えた環境

	①	②	③	④
ア	○	○	×	×
イ	×	×	○	○
ウ	○	×	×	○
エ	○	×	○	×

問 8 『幼児理解に基づいた評価』(平成 31 年 3 月文部科学省)「第 1 章 幼児理解に基づいた評価の意義 1. 幼児理解と評価の考え方」に示された内容として適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 幼児を理解するとは一人一人の幼児と直接触れ合いながら、幼児の言動や表情から、思いや考えなどを理解しかつ受け止め、その幼児の問題を見つけることを指している。

イ 信頼性のある評価にするためには、幼児と幼児を比較して、誰が誰より劣っているか優れているかを評定する必要がある。

ウ 幼児の発達の理解を深めるためには、教師が幼稚園生活の全体を通して幼児の発達の実情を的確に把握することや、一人一人の幼児の個性や発達の課題を捉えることが大切である。

エ 幼稚園生活の中で幼児の行動や心の動きが生み出される背景には、月齢が大きな意味をもっている。

問 9 『幼児理解に基づいた評価』(平成 31 年 3 月文部科学省)「第 2 章 幼児理解に基づいた評価の基本的な考え方 1. 保育における幼児理解と評価」の中で、幼児理解に基づいた評価の妥当性や信頼性を高める工夫として挙げられている内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 園全体で組織的、計画的に取り組む

イ 保護者には幼児が育つ姿を伝えず、教師間で共有する

ウ 幼児の発達の状況を次の指導者又は小学校等に伝える

エ 教師自身の幼児との関わりを振り返る

問10 『幼稚園教育指導資料 第1集 指導計画の作成と保育の展開』(平成25年7月改訂文部科学省)「第1章 指導計画作成に当たっての基本的な考え方 2. 指導計画の意義 (1)指導計画の基本 ①幼児期の発達と指導計画」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 幼稚園生活は、教師や同年代の幼児と営む初めての集団生活であり、その新しい出会いを通して、幼児期の発達に必要な体験を重ねていくことができる。

イ 幼児期の発達は、大人から一方的に指示されて行動することにより促され、必要な体験が得られる。

ウ 幼児期の発達の理解は、日々の保育の中で、幼児の生活する姿を全体的、総合的に捉えることが大切である。

エ 指導計画の作成においては、幼児の主体性と指導の計画性をバランスよく絡ませていくことが最大の課題である。

問11 次の文は、『幼児理解に基づいた評価』(平成31年3月文部科学省)「第1章 幼児理解に基づいた評価の意義 1. 幼児理解と評価の考え方 (1)幼稚園教育の充実のための基本的な視点」に示されている記述である。文中の  から  に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

幼稚園教育においては、 に規定された目的や目標が達成されるよう、幼児期の発達の特性を踏まえ、幼児の生活の実情に即した教育内容を明らかにして、それらが  を通して幼児の中に育てられるように  をもった適切な教育を行うことが大切です。

	①	②	③
ア	教育基本法	教育	柔軟性
イ	学校教育法	生活	計画性
ウ	学校教育法	教育	柔軟性
エ	教育基本法	生活	計画性

問12 次の[A群]は絵画制作の表現技法を，[B群]はそれを説明したものである。[A群]と[B群]の組合せとして最も適切なものを，下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

[A群]

- ① スクラッチ ② フィンガーペインティング ③ コラージュ ④ デカルコマニー

[B群]

- A 写真や新聞紙，ボタンやひも，布などのいろいろな素材を切り貼りし，それらを組み合わせてつくる表現技法  
 B あらかじめクレヨンで下塗りした色の上に黒など違う色を塗り重ね，上の色をひっかいて削り取り下の層の色を出す表現技法  
 C 手のひらや指などに直接絵の具を付けて，画用紙に塗ったり，こすりつけたりして描く表現技法  
 D 絵の具を塗り付けた紙を半分に折り，絵の具を転写させて左右対称の絵を作る表現技法

	①	②	③	④
ア	B	C	A	D
イ	C	A	B	D
ウ	B	D	C	A
エ	D	C	A	B

問13 楽曲の速度を示す音楽用語とその意味の組合せとして正しいものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	音楽用語	意味
ア	ラルゴ(Largo)	幅広く緩やかに
イ	アンダンテ(Andante)	活発に早く生き生きと
ウ	モデラート(Moderato)	歩くような速さで
エ	ビバーチェ(Vivace)	中くらいの速さで

問14 次の文章は、ある人物について述べたものである。その人物名として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

大正から昭和初期にかけて活躍した画家である。留学中、モスクワで児童創造美術展を鑑賞し、そのいきいきとした子供の絵に感銘を受け、帰国後、長野県で児童自由画展覧会を開催した。手本を模写させる臨本主義であった日本の美術教育から脱却し、子供ののびのびとした自由な表現を重視し、自由画教育運動を推進した。主著に『自由画教育』がある。

- ア 伊沢修二
- イ 巖谷小波
- ウ 鈴木三重吉
- エ 山本鼎

問15 幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図るために、各小学校において幼児期の教育における遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにするための取り組みについて、最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア GIGA スクール構想
- イ 持続可能な開発目標
- ウ スタートカリキュラム
- エ スターティング・ストロング